

デジタル教科書を効果的に活用

7月13日、大阪教育大学と連携協定締結

市は7月13日、国立大学法人大阪教育大学と学校教育に関する連携協定を締結する。市内小学校を対象にデジタル教科書の効果的な活用法と教育効果に関する実証研究を行い、児童の英語力向上をめざすほか、教員養成各般において連携・協力することで、優秀な教員の育成と人材確保につなげる。

締結式は7月13日(木)午前10時から市役所別館4階第4委員会室で開催する。

★市では、学校教育においてLTEモデルのiPadを一人一台導入し、子どもたちが学校だけでなく自宅に持ち帰り、「いつでも」「どこでも」鉛筆やノートのように使いこなせることをめざすなど、全国トップクラスの環境を整えることで、ICTを活用した誰一人取り残さない個別最適な学びの推進に取り組んでいる。

★今年度は市内小学校3校を研究フィールドとして、小学校外国語科(英語)のデジタル教科書の効果的な活用等に係る実証研究に取り組みます。市担当者は「ネイティブスピーカーによる英語の音声や動画がふんだんに収納されているデジタル教科書と外国語の授業との親和性は非常に高いと感じている」とした上で、同研究を通して、「特に聞く・話す活動にかかる授業改善を踏まえた学習者用デジタル教科書の効果的な活用法について考え、認知面と非認知面に関する教育効果を測り、市内の子どもたちの英語力向上の一助としたい」と話している。

★同大学は先導的・革新的な教員養成プログラムなどに取り組んでいることから、昨年3月、文部科学大臣から全国で4大学の「教員養成フラッグシップ大学」の指定を受けた。市は同大学と連携協定を締結することで、教員の人材確保や教員研修の面で支援を得られることや、市の教育が抱える課題等について、協定により同大学の教員から専門的なアドバイスをもらうことができるなどのメリットがある。教員研修の面では、同大学天王寺キャンパスに令和6年度の完成を予定している複合施設「みらい教育共創館(仮称)」を活用した研究授業の発表などの取り組みや同大学が開発中のオンライン教員研修プログラム「OKUTE P(オクテップ)」を活用し、本市の教員育成指標と連動した効果的な教員研修の推進などに取り組もうとしている。今後は各審議会委員等に同大学の教員の推薦を求めることや、市教育委員会と同大学とのワーキングチームによる個別の教育課題の解決を目指した共同研究の実施を検討し、優秀な教員の育成や人材確保につなげる。

★協定締結式

日 時：令和5年7月13日（木）午前10時～10時45分

会 場：枚方市役所 別館4階 第4委員会室

出席予定者：大阪教育大学 学長＝岡本幾子、理事・副学長＝廣木義久、
理事・副学長＝広谷博史、副学長・事務局長＝宮崎孝

市出席者：市長＝伏見隆、教育長＝尾川正洋、副教育長＝岩谷誠、
総合教育部長＝今市将和、学校教育部長＝新保喜和

<お問い合わせ>

総合教育部教育政策課 ☎050-7105-8017 FAX072-851-1711